

水稻直播栽培特報(第3号)

～「R1 (令和元年) JAなのはな米品質向上運動」実施中～
なのはな米1等比率95%以上を継続!

令和元年6月
なのはな農業協同組合
富山農林振興センター

本年は播種時から気候に恵まれたため概ね苗立ちは良好で、すでに分げつが発生しているほ場も見られます。
 今後は、急激に分げつが増加するため、特に苗立ちが多かったほ場では、**過剰茎数が懸念されます。早急に『溝掘り』を行うとともに、『中干し』は遅れずに実施**し、稲体および根の健全化を図りましょう。

1 溝掘り・中干し

(1) 溝掘り[6月上旬までに設置]

『中干し』に入る前に、**5m (15～17条) に1本を目安に必ず『溝掘り』を行いましょ**う (下図参照)。
 なお、播種と同時に溝切りを行っている場合でも、再度『溝掘り』を行いましょ

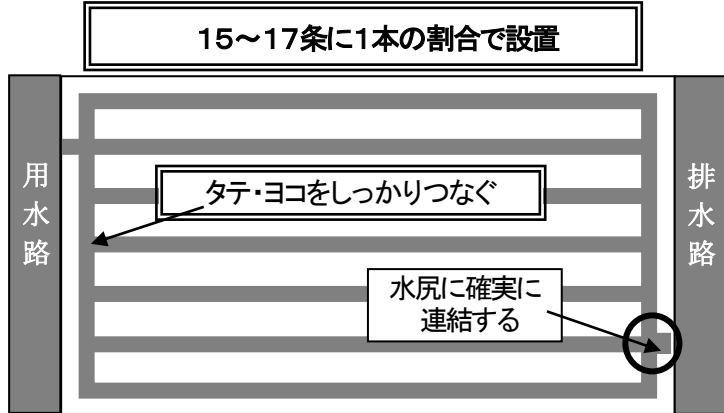
(2) 中干し[6月上旬～中旬に開始]

『中干し』は、**1m間の茎数が100本程度になったら遅れずに開始しましょ**う。
 なお、極端に強い『中干し』は、穂数不足になりやすいので、避けましょ

(3) 間断かん水[中干し後]

中干し後から幼穂形成期までは、湛水と落水を繰り返す**間断かん水**を行いましょ

◎溝掘りの目安



2 病虫害防除

(1) いもち病対策：予防粒剤は、**6月中旬頃までに散布**しましょ

薬剤名	10a 当たり使用量	使用上の注意
オリゼメート1キロ粒剤	1kg	散布後4～5日程度は「湛水状態」を保ち、7日間は落水や掛け流しをしない。

(2) 害虫対策：斑点米の原因となるカメムシ類の繁殖を抑えるため、畦畔や雑草地の草刈りを徹底しましょ

3 雑草防除

- ・藻や表層はく離が発生しているほ場では、**水の入れ換え**を行いましょ
- ・雑草が残っているほ場では、雑草の種類に応じて後期剤を適期に散布しましょ

雑草種類	使用除草剤	10a 当り使用量	使用時期	使用回数	使用上の注意
ノビエのみ	クリンチャー 1キロ粒剤	1.5kg	播種後25日～ ノビエ4葉期まで (収穫30日前まで)	2回以内	湛水状態で散布し、散布後5日間は湛水を保つ。
ノビエと 広葉	アクシズMX 1キロ粒剤	1kg	イネ2葉期～ ノビエ3.5葉期まで (収穫45日前まで)	1回	湛水状態で散布し、散布後5日間は湛水を保つ。
	サンパンチ 1キロ粒剤	1kg	イネ3葉期～ ノビエ3葉期まで (収穫60日前まで)	1回	湛水状態で散布し、散布後5日間は湛水を保つ。
	ワイドアタックD 1キロ粒剤	1kg	イネ3葉期～ ノビエ4.5葉期まで (収穫60日前まで)	1回	湛水状態で散布し、散布後5日間は湛水を保つ。
	アトカラS ジャンボMX	500g (小包装20個分)	イネ4葉期～ ノビエ3.5葉期まで (収穫45日前まで)	1回	5cm以上の深水状態で散布し、散布後5日間は湛水を保つ。 藻類や表層はく離が多発しているほ場では、使用を避ける。
	クリンチャー バスME液剤	1000ml (希釈水量70～100l)	播種後10日～ ノビエ5葉期まで (収穫50日前まで)	2回以内	落水状態で雑草茎葉部に薬剤が付着するように散布する。 また、3～4日間は入水、落水しない。
広葉雑草のみ	バサグラン粒剤	3kg	イネ3葉期～ 入水50日後まで (収穫60日前まで)	1回	落水または雑草が露出する程度の浅水状態で、晴天日を選んで散布し、散布後3～4日間は入水・落水しない。
	バサグラン液剤	500～700ml (希釈水量70～100l)	播種後35～50日 (収穫50日前まで)	2回以内	落水または雑草が露出する程度の浅水状態で、晴天日を選んで散布し、散布後3～4日間は入水・落水しない。

※「直播水稻」で登録のある除草剤を使い、決められた使用回数や散布量を守る等、使用基準を遵守しましょ
 ※ 除草剤散布後7日間は止め水管理 (田面水が用水路に流れ出ないよう管理) し、河川等の環境を守りましょ